職業実践専門課程等の基本情報について

| 学校名 | | 設置 | 認可年月 | | 校 | 長名 | | | 所在地 | 所在地 | | | | | | |
|--|-------------------------------------|--|--|--|---|--|--|--|------------------------------|--|--|------------------------|--|--|--|--|
| 東京情報クリエイター | | 平成: | 31年2月1 | 9日 | 徳田 | 文秀 | | 101-0051 東京都千代田区神田 | 神保町一丁月50番 | | | | | | | |
| 専門学校 | | | | | | | | 03-6261-3093 | | | | | | | | |
| 設置者名 | | | 認可年月 | | | 長者名 | | 101-0065 | 所在地_ | | | | | | | |
| 学校法人大原: | 学園 | 昭和 | 54年4月 | 1日 | 中本 | 毎彦 | (住所) | 東京都千代田区西神 03-3292-6266 | 田一丁目2番10号 | | | | | | | |
| 分野 | Ī | 認定課程名 | | | 認定学科 | 名 | | 1士認定年度 | 高度専門士認定 | 年度 | 職業実践専 | 厚門課程認定年度 | | | | |
| 工業 | I | 業専門課程 | ₽ | | リエイター: ・映像制作: | | 令和 | 2(2020)年度 | - | | 令和 | 4(2022)年度 | | | | |
| 学科の目的 | CG, Web | ー学科は、ゲ O制作に必要 Sスキルの習 | な知識・技 | 、CG映像制 も も も も も さるこ | l作、Web制作 | 作に関する知 | iii・技能の習 プレゼンテージ | では、クリエイタンとで、クリエイタンとで総合的な学習 | ー業界で活躍できる。 『を行っていく。さらに、 | 人材を育成 社会人とし | することを目1 して自立する <i>た</i> | 的とする。ゲーム、 こめのビジネスとし | | | | |
| 学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等) | CGや映像 定試験とし | 制作に必要な てCG、映像の | なモデリン の基礎知 | グ、CGアニ 歳を問うCG | メーション、 ARTS協会 | エフェクト、コン CGクリエイタ | ンポジットなど 一検定や一 | ご演習や実習を中心とし 般常識として日本ビジネ | した授業を実施し、作 トス技能検定協会の? | 品制作スキ 漢字検定3級 | ・ルの習得を目 級を合格を目 | 目指す。その他、検票としている。 | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修 | 子に必要 単位 | | 特数又は総 | 講 | 轰 | 演習 | 実習 | 実 | 験 | 実技 | | | | |
| 2 年 | 昼間 | ※単位時間、 かに記入 | 単位いずれ | 1,710 | 単位時間単位 | 90 | 単位時間単位 | 180 単位時間 | 1,590 単位時間 | 0 | 単位時間単位 | 0 単位時間 | | | | |
| 生徒総定員 | 生徒爭 | €員(A) | 留学生 | 数(生徒実員の | n内数)(B) | 留学生割· | 合(B/A) | 中退率 | | | 1 | | | | | |
| 80 人 | 39 | Д | | 0 | 人 | 0 | % | 18 % | | | | | | | | |
| | ■卒業者 | | : | | 27 | | 人 | | | | | | | | | |
| | | 望者数(D) | : | | 24 | | 人 | | | | | | | | | |
| | ■就職者 ■地元就 | 致(E) 職者数(F) | | | 18 18 | | 숫 | | | | | | | | | |
| | ■就職率 | (E/D) | - 16. ** | | 75 | | % | | | | | | | | | |
| | ■就職者 | に占める地テ | -就職者σ |)割合(F/E | 100 | | 06 | | | | | | | | | |
| | ■卒業者! | こ占める就職 | 者の割合 | (E/C) | 100 | | % | | | | | | | | | |
| | | | | | 67 | | % | | | | | | | | | |
| 就職等の状況 | ■進学者 ■その他 | | | | 0 | | 人 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 病気療養 | 、アルバイト | | | | | | | | | | | | | | |
| | (△±n | c 4 | F 市 次 类 老 | に関する会 | 和 7 在5日1 | 1日時点の情報 | 1) | | | | | | | | | |
| | (令和 | 。。 職先、業界等 | | (CRI) OI | 4H T 7-371 | T H M W AN I H M | k) | | | | | | | | | |
| | (令和6年度 | | 4 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | DF (株)SC | DLARIS, (# | TRICK BL | OCK、(株)アン | ナー・スタ | ジオ、(株)コロビト、(株)し | いたけデジタル、株 | ジェットスク | タジオ、(株)シ | バックス、㈱シー | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | サム、(株)ゼ | | /タープライ | ſズ、㈱ブレ | ・ミアエンシン | ′、(株)レイ 化 | R | | | | | | | | |
| | ピーブロッ ■民間の | ノサム、(株)ゼ 評価機関等 | ウス・エン から第三 | 者評価: | イズ、(株)ブレ | ベスドエンシン | 、(株)レイ 代 | 無 | | | | | | | | |
| 第三者による | ピーブロッ ■民間の | サム、(株)ゼ | ウス・エン から第三 | 者評価: | イズ、(株)ブレ | ベミアエンシン | 、(株)レイ 化 | 無 | | | | | | | | |
| 第三者による 学校評価 | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | ノサム、(株)ゼ 評価機関等 | ウス・エン から第三 | 者評価: | イズ、(株)ブレ | *ミアエンシン 受審年月: | 、(株)レイ 化 | 無 評· | 価結果を掲載した | | | | | | | |
| 学校評価 | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | ルサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下(| ウス・エン から第三 | 者評価: | イズ、㈱ブレ | | r、(株)レイ 1t | 無 評· | 価結果を掲載した ームページURL | | | | | | | |
| 学校評価 当該学科の | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | がサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下(評価団体: | ウス・エン から第三 について任 | 者評価: 意記載 | | 受審年月: | | 無 評· | | | | | | | | |
| 学校評価 当該学科の | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | がサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下(評価団体: | ウス・エン から第三 について任 | 者評価: 意記載 | | | | 無 評· | | | | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | ウス・エン から第三 について任 ac.jp/senr | 者評価: 意記載 | | 受審年月: | | 無 評· | | | | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a | ウス・エン から第三 について任 ac.jp/senr | 者評価: 意記載 | | 受審年月: | | 無 評· | | 1 710 | 递 位 | | | | | |
| 学校評価 | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a 応時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 ac.jp/senr 算定) | 者評価: 意記載 mon/schoo | ol/tokyo_it/ | 受審年月: ′course/crea | utor/ | 無 評· | | | 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | サム、㈱ゼ評価機関等、例えば以下I評価団体: 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 nc.jp/senr 算定) | 者評価: 意記載 mon/schoo | ol/tokyo_it/ -実験・実習 | 受審年月: /course/crea | utor/ | 無 評· | | 360 | 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 | 者評価: 意記載 mon/schoo を連携した を連携した | ol/tokyo_it/ | 受審年月: /course/crea | utor/ | 無 評· | | 360 | 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 nc.jp/senr 算定) | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した と連携した 業時数 | ol/tokyo_it/ -実験・実習 -演習の授業 | 受審年月: /course/crea - ・実技の授業 時数 | itor/ itbp | 無 評水· | | 360 0 360 | 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した と連携した 業時数 | ol/tokyo_it/ -実験・実習 -演習の授業 | 受審年月: /course/crea | itor/ itbp | 無 評水· | | 360 0 360 | 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 | 者評価: 意記載 mon/schoo sと連携した sと連携した sと連携した j ち企業等 うち企業等 | ol/tokyo_it/ - 実験・実習 - 演習の授業 - 赤と連携した | 受審年月: /course/crea - ・実技の授業 時数 | stor/ s 時数 実習・実技(| 無 評水· | | 360 0 360 360 | 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 ic.jp/senr 算定) うち企業等 うち必修授 | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した とと連携した きと連携した うち企業等 うち企業等 | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 を連携した を連携した | 受審年月: 'course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ | ator/ 烘時数 実習・実技(授業時数 | 無 評水· | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL 企業等をの実施状況 | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 ic.jp/senr 算定) うち企業等 うち必修授 | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した とと連携した きと連携した うち企業等 うち企業等 | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 を連携した を連携した | 受審年月: 'course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の | ator/ 烘時数 実習・実技(授業時数 | 無 評水· | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | アサム、(株)ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: ww.o-hara.a な時間による記 総授業時数 | ウス・エンから第三について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した とと連携した きと連携した うち企業等 うち企業等 | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 を連携した を連携した | 受審年月: 'course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の | ator/ 烘時数 実習・実技(授業時数 | 無 評水· | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した決 | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a z時間による 総授業時数 | ウス・エンから第三について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した とと連携した きと連携した うち企業等 うち企業等 | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 を連携した を連携した | 受審年月: 'course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の | ator/ 烘時数 実習・実技(授業時数 | 無 評水· | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a z時間による 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 うち企業等 (うち企業 | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した と連携した 実時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等 | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 を連携した まと連携した たインター | 受審年月: /course/crea ·実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の ·ンシップの授 | stor/ 実習・実技(授業時数 業時数) | 無 評水· | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 、例えば以下 評価団体: www.o-hara.a z時間による 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企業 定) | 者評価: 意記載 mon/schoo と連携した とと連携した うち企業等 うち企業等 うち企業等 と連携した | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 よと連携した よたインター 実験・実習 | 受審年月: /course/crea - 実技の授業 - 実技の複雑 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの授 - 実技の単位 | stor/ 実習・実技(授業時数 業時数) | 無 評水· | | 360 0 360 360 0 | 単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 ・例えば以下 評価ので www.o-hara.a z時間による1 総授業時数 | ウス・エン ウス・第三 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 についてを にっいてを にったてを にったて に | 者評価: 意記載 mon/school と連携した とと連携した うち企業等 うち企業等 と連携した なと連携した なと連携した など連携した など連携した | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 を連携した まと連携した たインター | 受審年月: /course/crea - 実技の授業 - 実技の複雑 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの授 - 実技の単位 | stor/ 実習・実技(授業時数 業時数) | 無 評水· | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 ・例えば以下 評価ので www.o-hara.a z時間による1 総授業時数 | ウス・エン から第三 について任 はc.jp/senr 算定) うち企業等 ううち企業等 (うち企業 定) | 者評価: 意記載 mon/school と連携した とと連携した うち企業等 うち企業等 と連携した とをとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをで | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 よと連携した たインター 上実験・実習 で | 受審年月: /course/crea - 実技の授業 - 実技の演習の - シシップの授 - 実技の単位 数 | stor/ 実習・実技(授業時数 業時数) | 無 評水 | | 360 0 360 360 0 | 単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 ・例えば以下 評価ので www.o-hara.a z時間による1 総授業時数 | ウス・エン ウス・第三 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 についてを にっいてを にったてを にったて に | 者評価: 意記載 mon/school と連携した とと連携した うち企業等 うち企業等 と連携した とをとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをできるとをで | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 よと連携した たインター 上実験・実習 で | 受審年月: /course/crea - 実技の授業 - 実技の複雑 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの授 - 実技の単位 | stor/ 実習・実技(授業時数 業時数) | 無 評水 | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 ・例えば以下 評価ので www.o-hara.a z時間による1 総授業時数 | ウス・エン ウス・第三 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 について任 についてを にっいてを にったてを にったて に | 者評価: 意記載 mon/school と連携した と楽時数 うち企業等 うち企業 はした と連携した とと連携した たと連携した たと連携した たと連携した たと連携した たと連携した たとを連携した たとををををををををををををををををををををををををををををををををををを | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 演習の授業 よと連携した たインター 上実験・実習 演習の単位 | 受審年月: /course/crea - 実技の授業 - 実技の演習の - シシップの授 - 実技の単位 数 | stor/ 実習・実技(授業時数 業時数) 数 | 無 評水 | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 ・例えば以下 評価ので www.o-hara.a z時間による1 総授業時数 | ウス・エン ・ウス・第三 ・ウス・第三 ・ロス・第二 ・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ | 者評価: *********************************** | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 に演習の授業 を連携した たインター に演習の単位 をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと で りまた で りまた で りまた で りまた で りまた で りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた | 受審年月: 'course/crea - 実技の授業 - 実技の複業 - 必修の実験・ - 必修の演習の - ンシップの授 - 実技の単位 数 - 必修の実験・ | ttor/ 実習・実技(授業時数) 業間・実技(対策を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | 無 評水 | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 ・例えば以下 評価ので www.o-hara.a z時間による1 総授業時数 | ウス・エン ・ウス・第三 ・ウス・第三 ・ロス・第二 ・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ | 者評価: *********************************** | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 に演習の授業 を連携した たインター に演習の単位 をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと で りまた で りまた で りまた で りまた で りまた で りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた | 受審年月: course/crea · 実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ | ttor/ 実習・実技(授業時数) 業間・実技(対策を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | 無 評水 | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ 評価機関等 ・例えば以下 評価ので www.o-hara.a z時間による1 総授業時数 | ウス・エン ・ウス・第三 ・ウス・第三 ・ロス・第二 ・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ロス・ | 者評価: *********************************** | ol/tokyo_it/ 上実験・実習 に演習の授業 を連携した たインター に演習の単位 をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと連携した をと で りまた で りまた で りまた で りまた で りまた で りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた りまた | 受審年月: course/crea · 実技の授業 時数 必修の実験・ 必修の演習の · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ 必修の実験・ | ttor/ 実習・実技(授業時数) 業間・実技(対策を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | 無 評水 | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼデーの機関等・ 評価機関等・ 例えば以下・ 評価間による。 総授業時数 「・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | ウス・エン () () () () () () () () () (| 者評価: mon/schoo sと連携しした とと連携し たと連携し たと連携し たと連携し たと連携し たと連携し たと連携し たと連携し たると連携し たると連携し たると連携し たると を修すると には数 たると には数 たると にはなる たると たると たると たると たると たると たると たると たると たる | ol/tokyo_it/ 上実験・実習の授業 清と連携した たたインター 上実験・実習の単位 は、 まと連携した よと連携した たよと連携した たよと連携した たんインター | 受審年月: course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必の演習の授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必必の実験・ 必必の対 必必をの演習の 必必をの演習の 必必をの演習の 必必をの ないません ないません | ttor/ 実習・実技(授業時数) 業間・実技(対策を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を | 無 評水 | | 360 0 360 360 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した況 (A、Bいずれか | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ学す・ 評価機関等・ が、例えば以下・ www.o-hara.a z時間による」 総授業時数 総授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ を を を を を を を を を を を を を | ウス・エン第三 () かいについて () に , jp / senr | 者評価: mon/schoo と連携した と楽等ちた全連携し たと連携した たまでは、 をはまり、 ととはなり、 をはまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまり | ol/tokyo_it/ 実験・実習の授業 子と連携した 大たインター 大きと連携した 大たインター 大きであったインター 大きであったインター 大きであったインター | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | また (大学) また (| 無 評水 | -A~-VURL | 360 0 360 360 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ学す・ 評価機関等・ が、例えば以下・ www.o-hara.a z時間による」 総授業時数 総授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ を を を を を を を を を を を を を | ウス・エン デスト | 者評価: mon/schoo と連携した と楽等ちた全連携し たと連携した たまでは、 をはまり、 ととはなり、 をはまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまりまり、 をはまり | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea ・実技の授業 時数 必修の実験・ 必必の演習の授 ・実技の単位 数 必修の実験・ 必必の実験・ 必必の対 必必をの演習の 必必をの演習の 必必をの演習の 必必をの ないません ないません | また (大学) また (| 無評が、からないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | -A~-VURL | 360 0 360 360 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ学・ 評価機関等 ・例えばは: www.o-hara.a な時間による。 数による。 数による数 総単位数 総単位数 ・ の修とと を学当来な。 ・ のの修とと | ウス・第三年 () () () () () () () () () (| 者評価: mon/schoo とと連携したと、業等を企業場したとと連携したとと連携したとと連携したとと連携したととを登りまたと連携したとと連携したとと連携したとのできると連携したとのできると連携したという。 | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | stor/ 実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 は位数) | 無 | 第1号) | 360 0 360 360 0 0 | 単位時間単位時間単位時間間単位時間間単位時間間間単位時間間単位時間間単位時間間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページURL 企業等と連携したに実習等の実施状か | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、機ゼ等 評価機関等 ・例えば以下 ・評価団体: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の ・ ・ の ・ の ・ ・ の ・ | ウス・第三年 () () () () () () () () () (| 者評価: mon/schoo とと連携したと、業等を企業場したとと連携したとと連携したとと連携したとと連携したととを登りまたと連携したとと連携したとと連携したとのできると連携したとのできると連携したという。 | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | stor/ 実習・実技(授業時数) 数 実習・実技(数 は位数) | 無評が、からないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 第1号) | 360 0 360 360 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等を連携した況 (A、Bいずれかに記入) | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、㈱ゼ学・ 評価機関等 ・例えばは: www.o-hara.a な時間による。 数による。 数による数 総単位数 総単位数 ・ の修とと を学当来な。 ・ のの修とと | ウスらいて 算力 うろう うち こと こと <t< td=""><td>者意記載 mon/schoo とと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたまとは数を企企業携したた。業等も</td><td>ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま</td><td>受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課</td><td>まませい/ 実習・実技 授業時数) 数 要単位数 (専修学)</td><td>無</td><td>ームページURL 第1号)</td><td>360 0 360 360 0 0</td><td>単位時間単位時間単位時間間単位時間間単位時間間間単位時間間単位時間間単位時間間</td><td></td></t<> | 者意記載 mon/schoo とと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたと連携したたまとは数を企企業携したた。業等も | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | まませい/ 実習・実技 授業時数) 数 要単位数 (専修学) | 無 | ームページURL 第1号) | 360 0 360 360 0 0 | 単位時間単位時間単位時間間単位時間間単位時間間間単位時間間単位時間間単位時間間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 金業等ののいずれのでは、「では、「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、様ゼ等 評価機関等・例えば以下・ 評価機関等・例えば以下・ 部間による。 総授業時数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の | ウかかについて ic.jp/senr | 者意記載 mon/schoo sとと連携しした をとと連携しした をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をいる をはる をはる をはる をはる をはる をはる をはる | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | ませい/ 実習・実技(授業時数) 数 数 第 単位数 (専修学・ (専修学・ | 無 | 第1号) 第2号) 第3号) | 360 0 360 360 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等を連携した況 (A、Bいずれかに記入) | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、機ゼ等 評価機関下 深種の関体: 一般では、 がいる。 では、 がいる。 では、 ののは、 の。 ののは、 の。 | ウかかについて ic.jp/senr | 者意記載 mon/schoo sとと連携しした をとと連携しした をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をいる をはる をはる をはる をはる をはる をはる をはる | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | ませい/ 実習・実技(浸業時数) (専修学・ (専修学・ (専修学・ | 無 | 第1号) 第1号) 第2号) 第3号) | 360 0 360 0 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位は 単位 単位 単位 単位 上 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームン URL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、 (株ぜ等) (株ぜ等) (株式) | ウかかこの | 者意記載 mon/schoo sとと連携しした をとと連携しした をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をいる をはる をはる をはる をはる をはる をはる をはる | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | ませい/ 実習・実技(浸業時数) (専修学・ (専修学・ (専修学・ | 無 | 第1号) 第1号) 第2号) 第3号) | 360 0 360 0 0 0 | 単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 金業等ののいずれのでは、「では、「では、「では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、機ゼ等 評価機関下 深種の関体: 一般では、 がいる。 では、 がいる。 では、 ののは、 の。 ののは、 の。 | ウかかこの | 者意記載 mon/schoo sとと連携しした をとと連携しした をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をいる をはる をはる をはる をはる をはる をはる をはる | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | ませい/ 実習・実技(浸業時数) (専修学・ (専修学・ (専修学・ | 無 | 第1号) 第1号) 第2号) 第3号) | 360 0 360 0 0 0 | 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位は 単位 単位 単位 単位 上 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームン URL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、 (株ぜ等) (株ぜ等) (株式) | ウかかこの | 者意記載 mon/schoo sとと連携しした をとと連携しした をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をとと連携した をいる をはる をはる をはる をはる をはる をはる をはる | ol/tokyo_it/ 上実験・実習を連携したまと連携したようと連携したまままままままままままままままままままままままままままままままままままま | 受審年月: course/crea · 実技の授業 必修の実験・ 必修の実験・ 必必の演習の授 · 実技の単位 数 必修の実験・ 必修の実験・ の次習の にまい門課 | ませい/ 実習・実技(浸業時数) (専修学・ (専修学・ (専修学・ | 無 | 第1号) 第1号) 第2号) 第3号) | 360 0 360 0 0 0 | 単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームン URL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、(株ぜ等) ・ (株型等) ・ (大型を) ・ (大型を) | ウかかに | 者意記載 mon/school とと楽ううう等 ととと位うう等 ととと位うう等 ととと位ううう等 ととと位ううう等 ととと位ううう等 | ol/tokyo_it/ 実験・実習機・実習機・大きと連携したため、 実験・実習が、大きのでは、 実際である。 大きのでは、 | 受審年月: / course/crea · 実技の授業 必修の実験・必修の実験・ 必必をシップの授 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 大数 ・ というのでは、 ・ にないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは | ttor/ 実習・実技(授業時数) 変数 実習・実技(の | 無 評水 於 | 第1号) 第2号) 第3号) 第5号) | 360 0 360 0 0 0 0 5 | 単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位時間 単単位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 位 人 人 人 人 人 人 人 人 人 | | | | | |
| 学校評価 当該学科のホームででは、 出版では、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 ないでは、 はないでは、 はないでは、 ないでは、 ないで | ピーブロッ ■民間の ※有の場合 https://w | サム、(株ぜ等) ・ (株型等) ・ (大型を) ・ (大型を) | ウかつ concipe for | 者意記載 mon/schoo とと楽うう等とと連携したた業等あたの企連携したた業業があるのでは、大きないでは、大きなでは、まないでは、大きなでは、まないは、まないは、まないは、まないは、まないは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、 | ol/tokyo_it/ 上実験・実 実際・実 で表と連携したした。 には、 | 受審年月: / course/crea · 実技の授業 必修の実験・必修の実験・ 必必をシップの授 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 実技の単位 · 大数 ・ というのでは、 ・ にないでは、 ・ にないではないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないでは、 ・ にないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは | ttor/ 実習・実技(授業時数) 変数 実習・実技(の | 無 | 第1号) 第2号) 第3号) 第5号) | 360 0 360 0 0 0 0 5 | 単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間単位時間 | | | | | |

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- 教育課程編成委員会は、専攻分野に関する企業、関係団体等からの意見を十分に活かしつつ、より実践的かつ専門的な職業教育を 主体的に実施するにあたり、次の方針をもとに取り組む。
- ①業界の実務に関する知識、技能を十分に把握するとともに、最新の技術動向についても変化に対応できるよう情報収集を図る。
- ②開発した教育プログラムについて、授業内容・方法・授業回数等、実務家・有識者の視点からの意見等を収集する。
- ③教員向けの研修について、知識・技術習得に向けた方法等、意見を収集する。
- ④学生の成績評価結果を踏まえ、教育プログラムの改善に向けて意見収集を行い、教育の質の向上を図る。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置づけについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考にして本校の教育課程編成について協議 策定するための機関として位置づける。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において現状の課題等を明確にしたうえで教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)委員会での協議内容は学園教育本部に提出し、学園全体の教育課程編成に活用していく。
- (エ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である教務責任者が参加することで、企業等の委員から提言された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

| 名 前 | 所 属 | 任期 | 種別 |
|-------|----------------------|----------------------------|----|
| 小澤 賢侍 | | 令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年) | 1 |
| 小川 美隆 | 株式会社養鶏場 代表取締役社長 | 令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年) | 3 |
| 杉山 雅信 | 東京情報クリエイター工学院専門学校 課長 | 令和7年4月1日~ 令和9年3月31(2年) | _ |
| 佐藤 宏司 | 東京情報クリエイター工学院専門学校 主任 | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | _ |
| 井坂 翔 | 東京情報クリエイター工学院専門学校 主任 | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | _ |

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7~8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月1日 16:00~18:00

第2回 令和7年3月11日 16:00~18:00

第1回 令和7年7月28日 16:00~18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

①令和6年8月1日 教育課程編成員会

■授業進行状況の報告

■AIによる素材生成についての動向

(委員からの意見)

年々AI活用は広がりを見せているのはもちろんだが、素材生成となるとリスクがあることを認識する必要がある。業務上、議事録作成やアイデアの着想を得るために使うのは問題ないが、デザインの場合はオリジナルに対する著作権は問題ないかなど注意する必要がある。教育的な側面ではツールの使用は経験しておいて欲しいが、スキルを学ぶためには優先順位は高くないと言える。

(今後の教育について)

・既にソフトウェアの機能としてAI機能が組み込まれているものもあり、ツールとしての使用という点では経験をしているが、そのリスクという点では認識の薄い学生もいるかもしれないため、あらためて事例なども踏まえ、AIの活用についてレクチャーしていく。

②令和7年3月11日 教育課程編成員会

■授業進行状況の報告

■アニメ業界、Blenderや他の業界とソフトについての動向

(委員からの意見)

Blenderはバージョンアップにより、導入企業の増加している情報を耳にするが、教育の主たる科目として導入する程ではない。特にアニメ業界の場合、CG化が ゲームや映画などの業界と比べて遅かったため、Blenderを使っている人はいるのではないか。

(今後の教育について) 教育ツールとしては、これまで通りMayaを使いながら希望業界ごとにサブツールの教育ができるかなど、履修科目の時間や内容を検討していく。

③令和7年7月28日 教育課程編成員会

- ■授業進行状況の報告
- ■3DCG、映像ソフトの動向

(委員からの意見)

サブツールの候補として挙げられるのは、Houdiniである。特にエフェクトチームの人材不足で悩んでいるという話を聞いている。また、HoudiniはAfterEffectsの上位 互換として使用されており、ノードベースでの創作が求められる。また、他校ではノードを繋いで、TouchDesignerと組み合わせて使用していると聞いている。Nukeは コンポジットがメインとなるため、実写ベースで素材が存在する前提となる。 (今後の教育について)

サブツールとしての必要性も含め、引き続き情報収集や動向をみて判断していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

多様化するクリエイター業界に対応できる実践力のある人材を育成するため、ゲーム制作、CG映像制作、Web・グラフィック デザインのそれぞれの分野・職種で、経験豊富な企業と連携し必要な知識・技術を習得することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ゲーム制作、CG映像制作、Web・グラフィックデザインのそれぞれの分野の授業科目に関して、企業等と協定書を締結、 打合せを行い、下記について授業内容の質向上のために連携している。

- ① 実習授業内容のアドバイス
- ② 当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③ 授業方法に関する数員への指導
- (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科 目 名 | 企業連携の方法 | 科目概要 | 連携企業等 |
|-------|---------------------------|---------------|---------|
| 制作実習I | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | オリジナル作品を制作する。 | 株式会社養鶏場 |
| 制作実習Ⅱ | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | オリジナル作品を制作する。 | 株式会社養鶏場 |
| 制作実習Ⅲ | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | オリジナル作品を制作する。 | 株式会社養鶏場 |
| 制作実習Ⅳ | 2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当 | オリジナル作品を制作する。 | 株式会社養鶏場 |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技術を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常にその時必要な実務に関する知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために下記のとおり教員研修の環境を整える。なお、これらは「大原学園 教職員研修規程」の目的に定めており、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力を高めるため環境を整備し、所属長の指示または本人の意思により公平に研修などを受講する機会を与えるものとし、計画的、組織的、継続的に取り組んでいくこととする。校内、校外において企画する研修は下記の通り。

- ①教育課程編成委員会に参画する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル等
- ②関連業界の実務家講師を招いた研修会の実施および、外部研修会の参加
- ③教育本部による知識技能及び指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: ゲームとセクシュアルマイノリティの表現の過去と未来 連携企業等: - 般社団法人コンピュータエンターティンメント協会

期間: 令和6年8月22日(木) 対象: 科目指導担当教員

内容 現代映像制作におけるセクシャルマイノリティを表現する上での注意事項を学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 発達障害に対する理解と支援について 連携企業等: 東京都私学財団

期間: 令和6年12月24日(火) 対象: 都内私立学校の教職員

内容 発達障害を抱える子どもたちの行動や意味を正しく理解し、適切に支援することを学ぶ

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: キャラクターの魅力を引き出すアニメーションと演出技法 連携企業等: -般社団法人コンピュータエンターティンメント協会

期間: 令和7年7月23日(月) 対象: 科目指導担当教員

内容 モーション、イベントの作り方、アプローチをコンシューマゲームの制作プロセスから学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: コーチング研修 連携企業等: 東京都私学財団

期間: 令和7年8月25日(月)、26(火) 対象: 都内私立学校の教職員

内容 教員を対象とし、学生の育成・指導の方法を学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が揃っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して下記に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職より改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| 2)「専修学校における学校評価ガイドライン ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|--------------------------------------|--|
| (1)教育理念•目標 | ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。 |
| (2)学校運営 | ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 |
| (3)教育活動 | ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。 |
| (4)学修成果 | ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 |
| (5)学生支援 | ①就職に対する体制は整備されているか。 ②学生相談に関する体制は整備されているか。 ③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 ⑥学生寮等、学生の生活環境への支援は行なわれているか。 ⑦保護者と適切に連携しているか。 ⑧卒業生への支援体制はあるか。 |
| (6)教育環境 | ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 ②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 ③防災に対する体制は整備されているか。 |
| (7)学生の受入れ募集 | ①学生募集活動は、適正に行なわれているか。 ②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 ③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか。 ④学納金は妥当なものとなっているか。 |
| (8)財務 | ①中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか。 ②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 ③財務について会計監査が適正に行なわれているか。 ④財務情報公開の体制整備はできているか。 |
| (9)法令等の遵守 | ①法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 ④自己点検・自己評価結果の公開はしているか。 |
| (10)社会貢献・地域貢献 | ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。 ②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 |
| (11)国際交流 (10)及び(11)については任意記載。 | |

(3)学校関係者評価結果の活用状況

ITエンジニアやクリエイターが利用するICTツールの必要スキルについて、学校に期待する教育指導について、ご意見を頂き、各学科で特性や運用 方法を踏まえ指導することになった。また、近年多様化する学生の悩みについて相談を行った結果、企業での取り組みなど数多くの事例を教えて頂いた。これらの話から教員の専門知識の向上や専用の窓口など、中長期的で慎重な対応を行う必要性があり、引き続きの検討項目となった。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

| 名 前 | 所 属 | 任期 | 種別 |
|--------|------------------------|----------------------------|-------|
| 木田 徳彦 | 一般社団法人ソフトウェア協会 | 令和6年4月1日~ 令和8年3月31日(2年) | 業界団体 |
| 長谷川 長一 | 株式会社ラック | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 加邉 徹 | 株式会社アイ・エス・ビー | 令和7年5月1日~ 令和9年3月31(2年) | 企業等委員 |
| 筑紫 歩 | LINEヤフ一株式会社 | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 芝原 賢司 | 株式会社サイド・シー | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 小澤 賢侍 | 公益財団法人画像情報教育振興協会 | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | 業界団体 |
| 小川 美隆 | 株式会社養鶏場 | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | 企業等委員 |
| 藤田 一鷹 | フリーデザイナー | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | 卒業生 |
| 千葉 雄大 | 株式会社デジタルワークスエンターテインメント | 令和5年4月1日~ 令和7年3月31日(2年) | 卒業生 |

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

公表時期: 令和7年10月6日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

実践的な教育における成果を広く周知することにより、企業等に教育活動、学校運営状況に関する理解を促し、企業等の連携の協力推進を 図る。これにより、教育活動及び学校運営における改善を活発に行い、社会全体の信頼に繋げていく。情報の公表を通じて、学校教育の質の 確保と向上を図るために、積極的に情報を提供することを基本方針とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|-------------------|---|
| (1)学校の概要、目標及び計画 | ①学校の概要②目標・方針・特色③所在地、連絡先④学校の沿革 |
| (2)各学科等の教育 | ①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路 |
| (3)教職員 | 各学科の担当教員紹介 |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | 各学科の実習紹介 |
| (5)様々な教育活動・教育環境 | ①学校行事②クラブ活動 |
| (6)学生の生活支援 | 学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声) |
| (7)学生納付金・修学支援 | ①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介 |
| (8)学校の財務 | 学園の財務状況公開 |
| (9)学校評価 | 学校関係者評価結果 |
| (10)国際連携の状況 | 留学生の募集 |
| (11)その他 | _ |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)· 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/information/11.pdf

公表時期: 令和7年10月6日

授業科目等の概要

| | (工業専門課程 クリエイター学科 (CG・映像制作コース)) | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------------------|----|------|----------------|---|--------|----|----|---|----|--------|---|----------|---|---|-------|
| | | 分類 | | | | 配当年 | 授業 | 単 | | 漢フ | 実験 | | <u>所</u> | 数 | | 企業等 |
| | 必修 | 必 | 日由選択 | 授業科目名 | 授業科目概要 | 平次・学期 | 時数 | 位数 | 義 | | ・実習・実技 | | 炒 | | | 守との連携 |
| 1 | 0 | | | デジタル表現 I | デザイン表現基礎 + Photoshopの習得 | 1 前 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | 0 | | |
| 2 | 0 | | | 課題制作I | 映像課題の制作を行う | 1 後 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | 0 | | |
| 3 | 0 | | | | CGクリエイター検定の過去問を使った本試 験対策 | 1 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 4 | 0 | | | キャリアデザ イン I | 就職活動とは何か、から必要なものを理解 して準備する | 1 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 5 | 0 | | | 基礎デザイン I | 作図法の基本や形の捉え方を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | |
| 6 | 0 | | | 基礎デザイン Ⅱ | 立体図法の捉え方や物の形を正確に表現す る方法を学ぶ | 1 後 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | |
| 7 | 0 | | | プレゼンテー ション | プレゼンテーションの基礎としてビジネス コミュニケーションと文章構成を学ぶ | 1 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 8 | 0 | | | デジタル表現 Ⅱ | デザイン表現の基礎 とIllustratoの基礎オペレーションの習得 | 1 前 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | 0 | | |
| 9 | 0 | | | CG映像概論 I | 映像・撮影、編集技術を基礎に絵コンテ作 成演習を行う | 1 前 | 30 | 2 | Δ | 0 | | 0 | | | 0 | |
| 10 | 0 | | | CG映像概論Ⅱ | シナリオ、ストーリー作成メソッドの講義 と演習を実施する | 1 後 | 30 | 2 | 4 | 0 | | 0 | | | 0 | |
| 11 | 0 | | | | デザイン表現基礎・応用の習得およびデザ イン制作 + ポートフォリオ制作する | 1 前 | 30 | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 12 | 0 | | | モデリングI | 3DCGソフトの操作の習得と、それによるモ デリング技術の向上を狙いとした実習を行 う | 1 前 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | |

| 13 | 0 | | | 3DCGソフトの操作の習得と、それによるモデリング技術の向上を狙いとした実習を行う | | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | |
|----|---|---|---------------|--|--------|----|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 14 | 0 | | モーションI | 3DCGソフトの操作の習得と、それによる モーション技術の向上を狙いとした実習を 行う | | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | |
| 15 | 0 | | モーションⅡ | 3DCGソフトの操作の習得と、それによる モーション技術の向上を狙いとした実習を 行う | 1 後 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | 0 | |
| 16 | 0 | | | Premiere & After Effects 基本の習得 + 映像作品実習する | 1 前 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| 17 | 0 | | 映像編集Ⅱ | AfterEffectsエフェクト制作基礎 + VFX・ 合成基礎実習 | 1 後 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | 0 | | |
| 18 | | 0 | 作品制作I | コンテスト作品を制作する | 1 前 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | |
| 19 | | 0 | 作品制作Ⅱ | コンテスト作品を制作する | 1 後 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | |
| 20 | 0 | | 課題制作Ⅱ | オリジナル作品の企画、制作を行いプレゼ ンテーションする | 2 前 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | 0 | |
| 21 | 0 | | キャリアデザ インⅡ | 就職活動に臨むための具体的な方法をレク チャーし、準備や模擬練習を行う | 2 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | | 0 | 0 | | |
| 22 | 0 | | キャリアデザ インⅢ | 就職活動に臨むための具体的な方法をレク チャーし、準備や模擬練習を行う | 2 後 | 30 | 1 | 0 | 4 | | 0 | 0 | | |
| 23 | 0 | | CG映像概論Ⅲ | オリジナル映像作品のストーリーの演習を 実施する | 2 前 | 30 | 2 | Δ | 0 | | 0 | | 0 | |
| 24 | 0 | | 基礎デザイン Ⅲ | 人物デッサンの基本を学ぶ | 2 前 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | |
| 25 | 0 | | 基礎デザイン Ⅳ | 人物デッサンの応用を学ぶ | 2 後 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | 0 | |
| 26 | 0 | | モデリングⅢ | モデリングレベルUPの為の質感表現、スカルプトソフトの基本技能を習得を狙いとした実習を行う | | 60 | 3 | Δ | | 0 | 0 | | 0 | |
| 27 | 0 | | モーションⅢ | オリジナルモデルの制作に加え、効果的な モーションの実習を行う | 2 前 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | |

| 28 | 0 | | | 映像編集Ⅲ | AfterEffects実践・応用 および映像作品の 実習 | 2 前 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | 0 | | |
|----|---|---|---|---------------|---|--------|----|---|---|-----|--------|----|-----|----|----|----|
| 29 | 0 | | | ポートフォリ オ制作 | 就職活動にてのPRツールであるポートフォリオの制作準備をする | 2 前 | 30 | 2 | Δ | | 0 | 0 | | 0 | | |
| 30 | 0 | | | 3DCG実習 I | モデラ―、アニメーター、コンポジッタな ど希望職種に応じた作品制作を行う | 2 前 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | | 0 | |
| 31 | 0 | | | 3DCG実習Ⅱ | モデラ―、アニメーター、コンポジッタな ど希望職種に応じた作品制作を行う | 2 後 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | | 0 | |
| 32 | 0 | | | 課題制作Ⅲ | 企画立案から作品制作まで自らの希望職種 に応じた作品を制作する実習を行う | 2 後 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | | 0 | |
| 33 | 0 | | | 課題制作Ⅳ | 企画立案から作品制作まで自らの希望職種 に応じた作品を制作する実習を行う | 2 後 | 30 | 1 | | | 0 | 0 | | | 0 | |
| 34 | | 0 | | 制作実習I | オリジナル作品を制作する | 2 後 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| 35 | | 0 | | 制作実習Ⅱ | オリジナル作品を制作する | 2 後 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| 36 | | 0 | | 制作実習Ⅲ | オリジナル作品を制作する | 2 後 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| 37 | | 0 | | 制作実習IV | オリジナル作品を制作する | 2 後 | 90 | 3 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 |
| 38 | | | 0 | 応用制作 I | コンテスト作品を制作する | 2 前 | 60 | 2 | | | 0 | 0 | | | 0 | |
| | ' | | 合 | 計 | 39 | 科 | 目 | | 7 | 7(2 | , 130) | 単位 | 立 (| 単位 | 時間 | 引) |

| | 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | Ŧ |
|-------|---|-----------|------|
| 卒業要件: | 授業科目の成績評価に基づいて、卒業審査により課程修了の認定を行う。 校長は本校所定の課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。 クリエイター学科 1,700時間(62単位) | 1 学年の学期区分 | 2 期 |
| 履修方法: | 授業は、講義・演習・実習・実技のいずれかより又はこれらの併用により行うものとする。 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。本校において必要と認めた場合に限り、追試験または再試験を行うことがある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90 | 1 学期の授業期間 | 20 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。